

平成 29 年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名 西東京市立谷戸小学校

校長名 野崎 信行

学校教育目標

- 元気で、ねばり強い子
- 進んで学び、行動する子
- 心の豊かな子

学校の特徴

- 1 一人一人を大切にしたい、人権教育及び特別支援教育を推進する。
人権教育を推進するとともに道徳教育の充実を図り、自尊感情や自己肯定感を高め、いく取り組みを重視している。また、いじめや体罰の根絶を目指している。特別支援教室の拠点校として、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童の理解に努め、個別指導計画・個別支援計画をもとに支援の在り方や進め方を協議し、関係機関との連携のもと具体的な方策を立てて取り組んでいる。
- 2 質の高い授業づくりに努め、学力向上を図る。
ユニバーサルデザインの考えに基づいて、焦点化・視覚化・共有化の視点から言語活動を大切にしたい授業づくりの研究を進め、全員が主体的・対話的で深い学びができる授業を目指している。また、谷戸ゼミや朝学習、家庭学習等の充実を図り、児童の確かな学力の定着及び学ぶ意欲の向上を図っている。
- 3 保護者ととともに児童の読書活動を推進する。
保護者による読み聞かせ等の協力も得ながら読書活動を推進している。読書好きの児童が多い。低中学年で読書好きの児童、高学年で読書の幅を広げる児童に育成する。
- 4 保護者ととともに健康教育を推進する。
これまでの取組の成果から児童の持久力は向上してきたが、柔軟性・投力に課題が見られる。一方、食事・睡眠・テレビやゲームなどの児童を取り巻く環境が直接子供たちへの心と体の健康に深く影響している。体力向上とともに食育指導・生活習慣の改善等、保護者との連携のもとに健康教育を進めている。
- 5 地域とともに安心・安全な開かれた学校づくりに努める。
地域・保護者・学校のネットワークを強化し、防災教育及び安全教育を推進するとともに児童虐待防止に努めている。学校が地域と数多く関わり、積極的に貢献し、さらなる信頼・協力関係を深める。

目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

【目指す学校像】

- ・ 子供の笑顔が広がり、声が響き合う、幸せ追求の学校

【目指す児童像】

- ・ 将来を夢見て、よく考え、主体的に協働する児童

【目指す教師像】

- ・ 創意工夫に満ちた授業の充実に努め、子供の心に灯をともし人間力ある教師

学校経営の目標

1 中期経営目標（中間的課題）

【人権教育】

（１）人権教育を充実させ、豊かな人間性の育成を図る。

【学力の向上】

（２）基礎・基本の定着とともに、分かる授業・考え高め合う授業の実現に努める。

【体力の向上】

（３）丈夫な体とたくましい心を育てる。

【特別支援教育】

（４）一人一人を大切にしたい、特別支援教育を推進する。

【地域との連携】

（５）地域に開かれた学校づくりを行う。

2 短期経営目標（１に基づく本年度の重点目標）

キーワード１「つながり、響き合う声」 キーワード２「次期学習指導要領に向けて」

（１）互いの良さを生かして協働する力を育て、いじめや体罰の根絶に努める。

（２）基礎・基本の定着を図り、主体的に考えを伝え合い、学びに向かう力を育てる。

（３）子供の生活全体を通して健康教育を推進するとともに、体力の向上を図る。

（４）全校試行実施する特別支援教室拠点校として、一人一人に応じた支援を充実する。

（５）地域と密着した安心な学校を目指し、安全教育の充実に努める。

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

- 1) ①あいさつ、感謝や励ましの言葉、言葉遣いを指導し、相手を大切にする心を育てる。
- ②児童により良い学級生活を目指した「行動目標」をもたせ、適宜学級力アンケート等で学級の実態を振り返り、PDCAサイクルをとおして協働する心を育成する。
- ③東京都オリンピック・パラリンピック教育を推進し、協働の心・スポーツや運動に対する関心・愛国心・国際理解等の視点から豊かな心を育てる。
- ④考え、議論する道徳の授業に改善し、子供の内面を引き出し、自己の生き方を考え、他者とともによりよく生きる心情を養う。
- ⑤アンケート・面談で児童理解に努め、いじめや体罰を根絶し、虐待防止に努める。
- 2) ⑥全員が主体的に授業に関わり、考えを伝え合う話し合い、深め合う話し合い、そして発表する場を大切にしたユニバーサルデザインの考え方に基づいた授業づくりを進める。
- ⑦読書週間、朝読書を実施し、読書に親しみ、読書の幅を広げる子供を増やす。
- ⑧東京ベーシック・ドリル等を活用して基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。
- 3) ⑨生活振り返り週間を年３回設定し、児童の生活習慣の改善を図る。
- ⑩食育の年間指導計画をもとに、各学年に応じた食育指導を推進する。
- ⑪体力ジャンプアップの取組、外遊びの励行とともに、体育の授業を中心に運動好きの児童を育成する。持久力と柔軟性、投力を重点項目と定め、児童の体力向上を図る。
- 4) ⑫特別支援教室拠点校として、個別指導計画・個別支援計画をもとに通常学級と特別支援教室とより一層の連携を図り、児童一人一人を大切にした教育支援を進める。
- 5) ⑬地域・保護者と協力して学校の安全管理と防災教育・安全教育を推進し、防災や安全の意識啓発を図る。
- ⑭市民まつり・育成会等の地域行事に関わったり、保護者や地域の教育力を活用したりすることで、地域の活性化に努める。
- ⑮学校公開や学校メール・ホームページによる最新情報の発信や、定期的な通信を発行する。また、学校評価・保護者面談等で相互の連携を深める。